

製作者

黒崎展兆	小島 沙友里	谷口 浪	田中 陵	明石行生
寺井規史	小林 風音	亀井 夢乃	平野 華	
木田 晶	酒井 太希	齋藤 実希	藤堂 智江	
轟 棟興	二ツ矢 滉樹	池田 千夏	西澤 隆希	
銭 重陽	村上 香織	大木 彩香	後藤 雅貴	協力
山本 健太	安田 将悟	生越 季理	鈴木 しゅうま	
岩本 和士	谷田 育美	久保寺 達也	久保 美月	福井大学吹奏楽部
大西 健太	トラ—	荻谷 はるな	大塚 碧	フィルハーモニー管弦楽団
	青木 侑希	藤井 浩都	中山 浩介	福井大学経営戦略課
	森 あいか	石川 祐里香	野本 昂奨	福井大学広報センター

監修

万華鏡

キャンパスイルミネーション 2016

光の屈折が織り成す不思議な世界を見せる万華鏡。
その模様は千差万別であり、無限の魅力を湛えている…。
万華鏡のような美しさと面白さを兼ね備えた空間で、
光の可能性を感じてみませんか？



目次



- 01 はじめに
- 03 ひかりのありか
- 05 華紋様
零彩
- 07 虹彩
- 09 夢燈
光片
- 11 泡沫
- 13 彩流
閃花
- 15 魔女の悪戯
- 17 光と影の物語
- 19 インタビュー
参加者

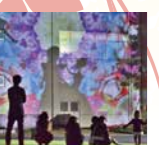
ひかりのあしか

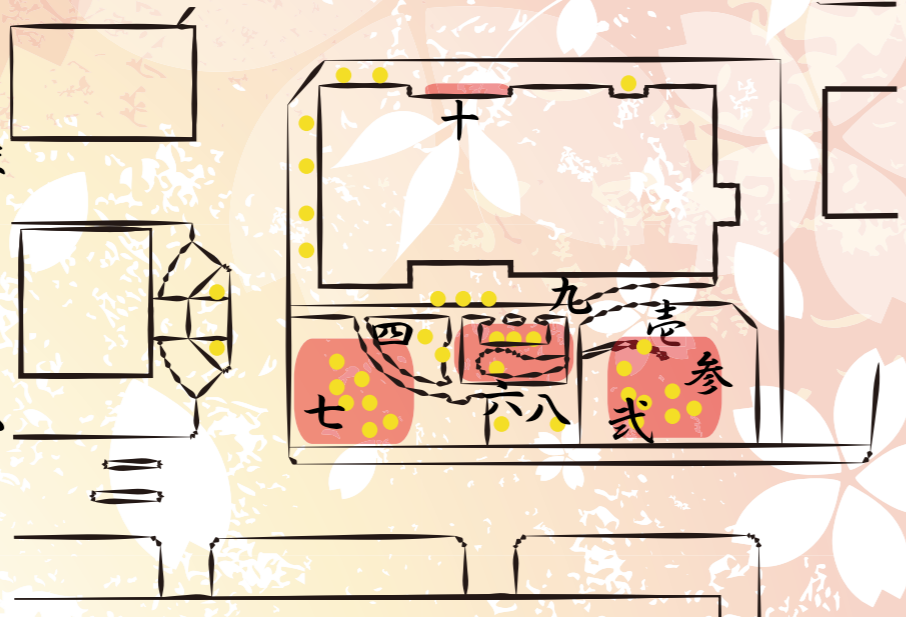
六  光片
p.09

七  泡沫
p.11

八  彩流
p.13

九  閃花
p.13

十  光と影の物語
p.17



文京きゃんぱす

ひかりのあしか

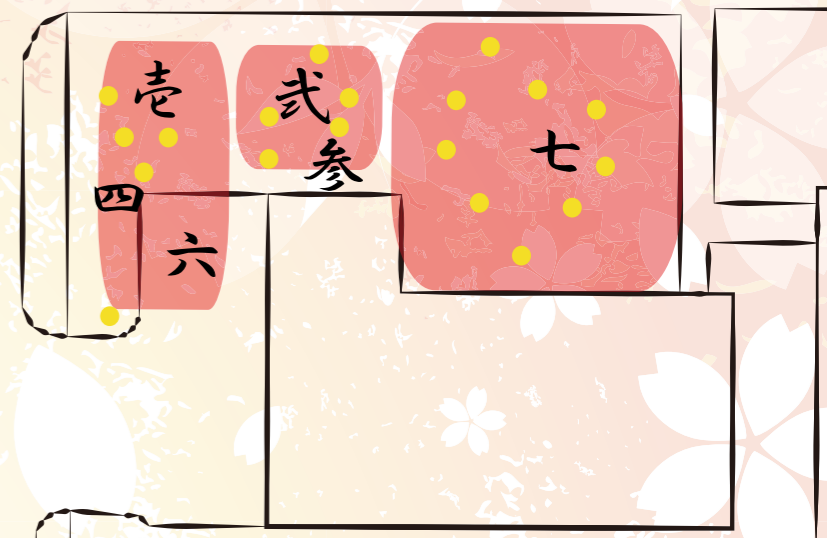
壹  華紋様
p.05

貳  零彩
p.05

参  虹彩
p.07

肆  夢燈
p.09

伍  魔女の悪戯
p.15



松岡きゃんぱす



はなもんよう

華紋様

日本の文化である花札と和傘を組み合わせたオブジェ。6個の和傘にそれぞれ2ヶ月分の花札模様を取り込み、リデザインした。花札の色と光源の色によって千差万別に変化する色合いを楽しむオブジェとなった。



しずく

雫彩

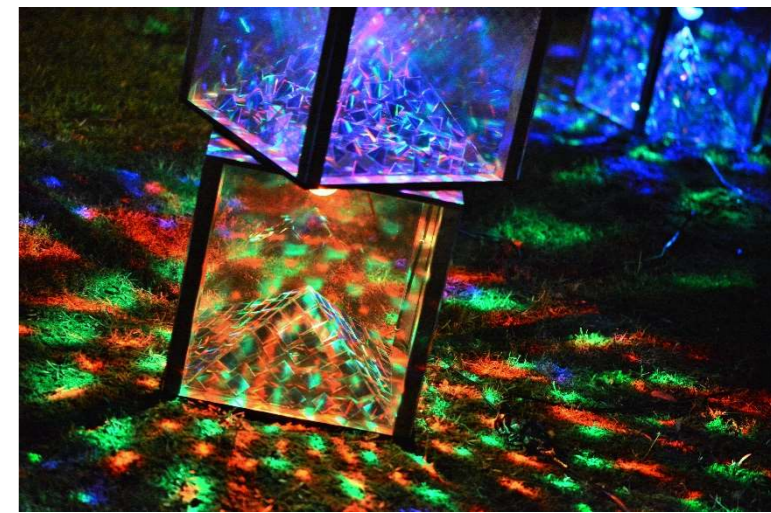
雫が少しずつ大きくなって雫れ落ちていく様を表したオブジェ。枝にぶら下がっているものは小さく、地面のものは大きくすることで、雫が大きくなっていく様を表した。





こう さい
虹 彩

地面への光の写りこみを意識したオブジェ。虹色に輝く鏡面に光が反射し広がることで、無数の鮮やかな光が地面に映し出される作品になった。





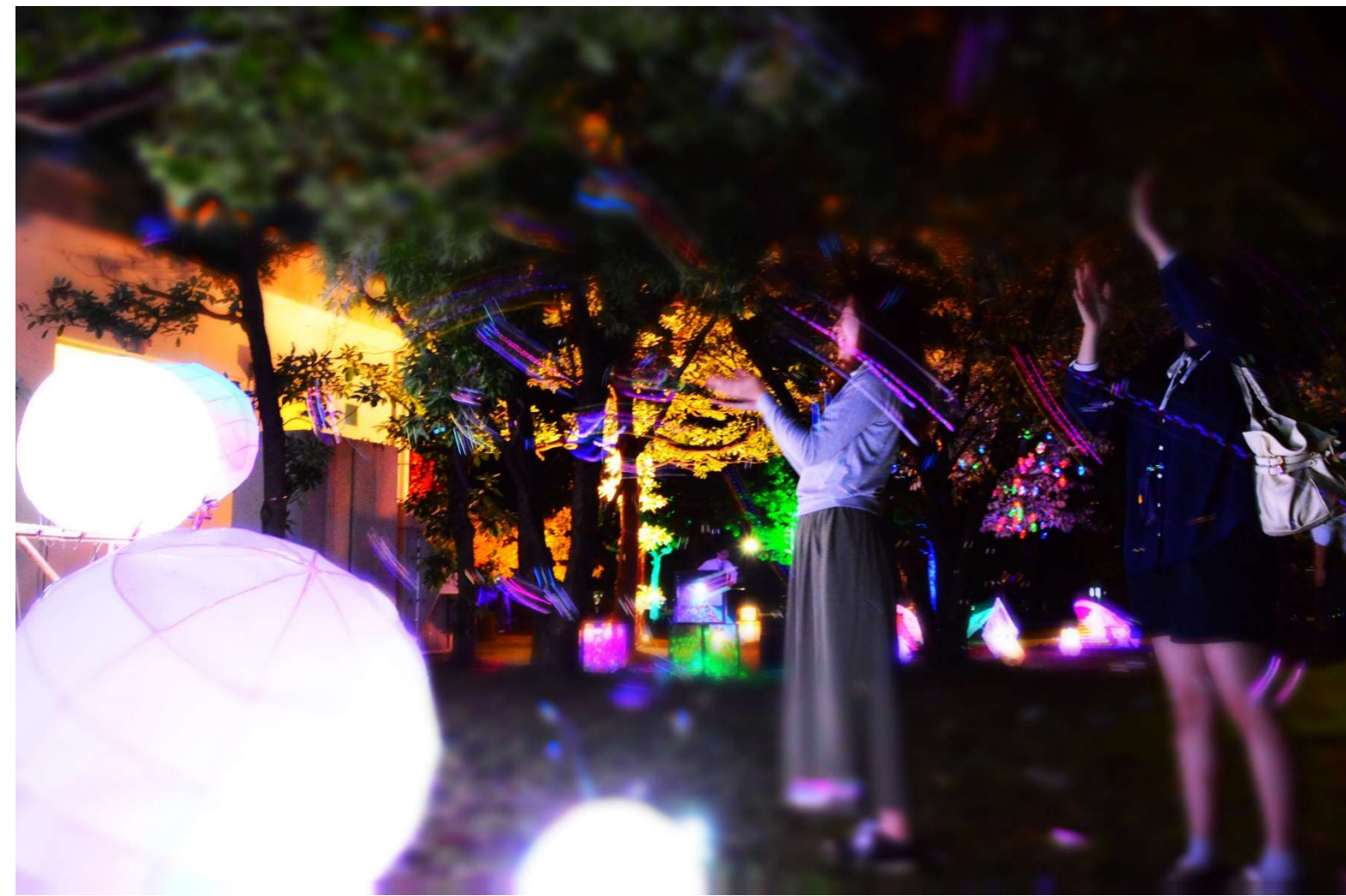
む とう
夢 燈

ステンドグラスを模して作成した円柱状の大型オブジェ。前面の色と後面の色が重なることで、織り交ざりあう色彩を浮かび上がらせる。



こ う へん
光 片

万華鏡の中できらきらと光る色を結晶という形で表現した。それぞれが違った結晶の形をしており、生垣をまるで万華鏡のように彩った。



うた かた

泡沫

大小さまざまなシャボン玉を模したオブジェ。シャボン玉のように、見る角度によって色が変わる様子を光源の発色を変化させることで再現した。





さいりゅう

彩流

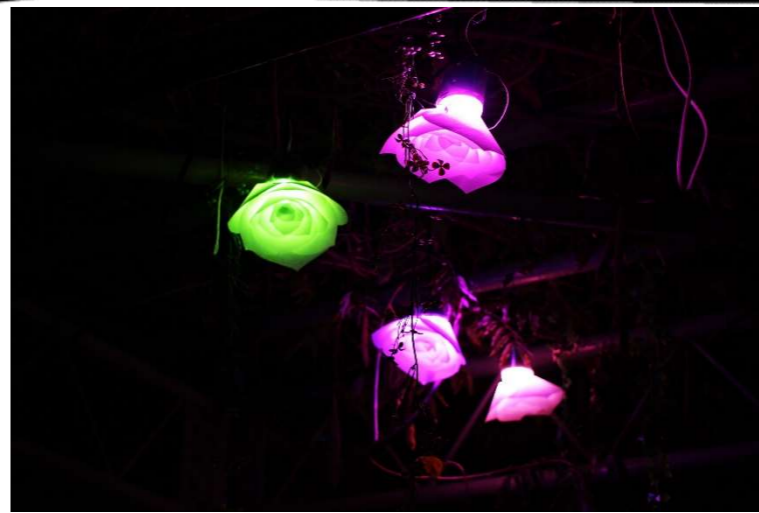
水の中にたたずむ五角錐の大きなオブジェ。表面には水が流れ落ち、波打つ水音と光の調和が神秘的な空間を魅せる。

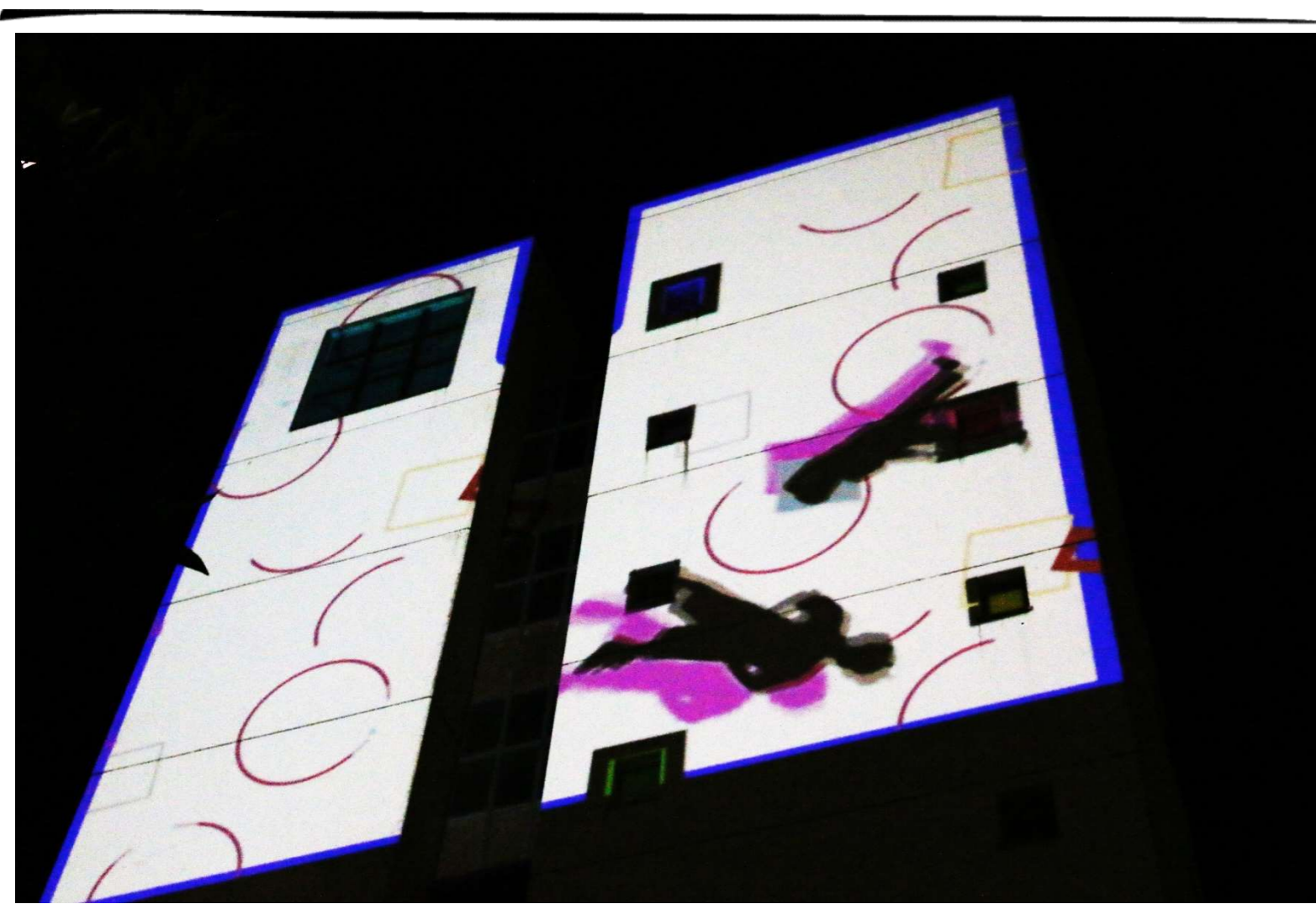


せんか

閃花

体感型オブジェとしてスイッチを利用したオブジェ。花とツタが連動していて、ツタを引くことで花が点いたり、消えたりする。ただ見るだけでなく、触れることのできる楽しいオブジェとなった。



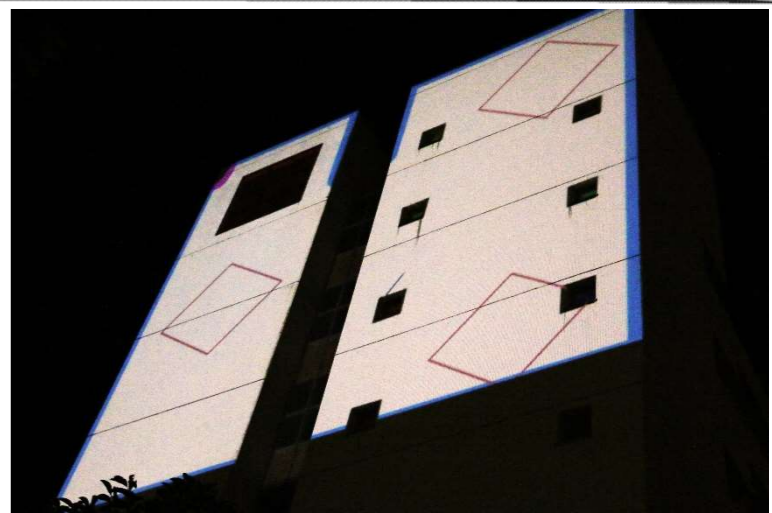
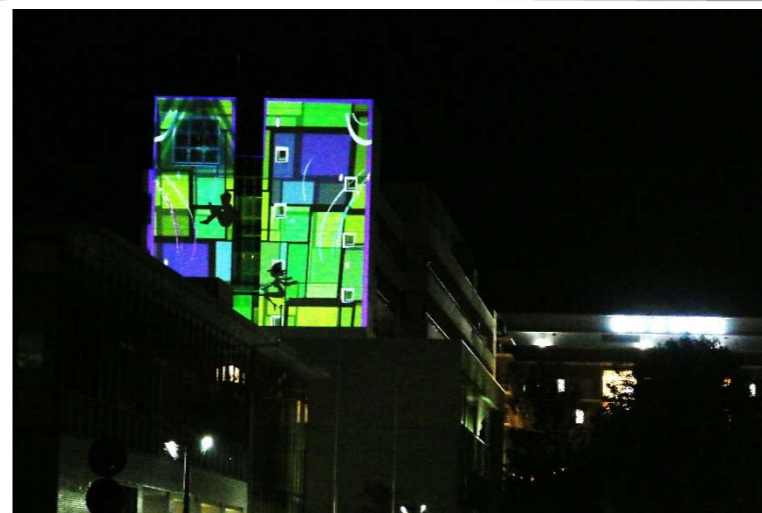


ま じよ いたずら

魔女の悪戯

月の光の中で煌めきながら近づいてきたのは一人の魔女。

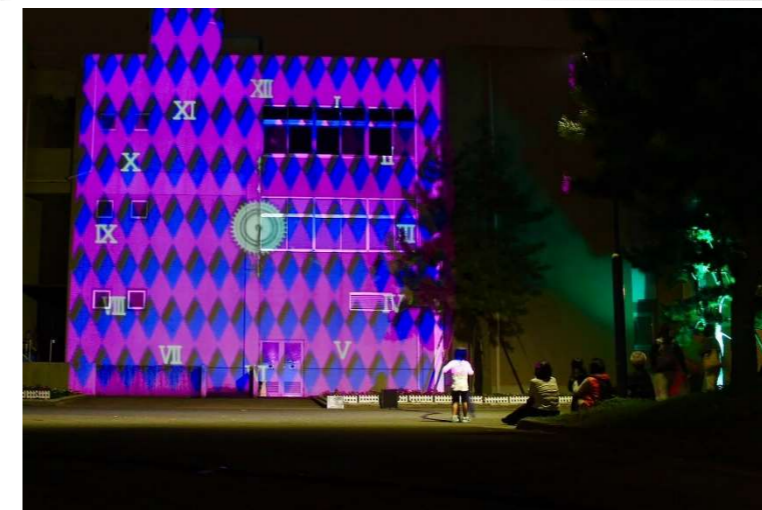
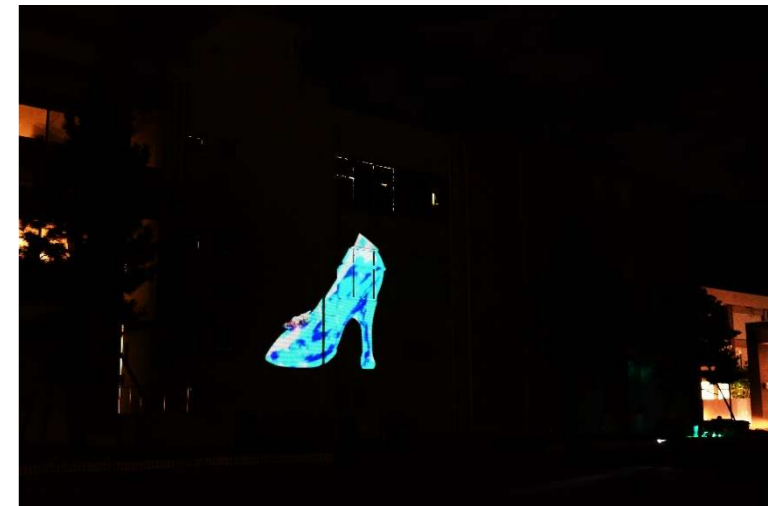
「さあ、でかけよう！」引き寄せられるように浮かび上がった子供たちのいきつく先は…。



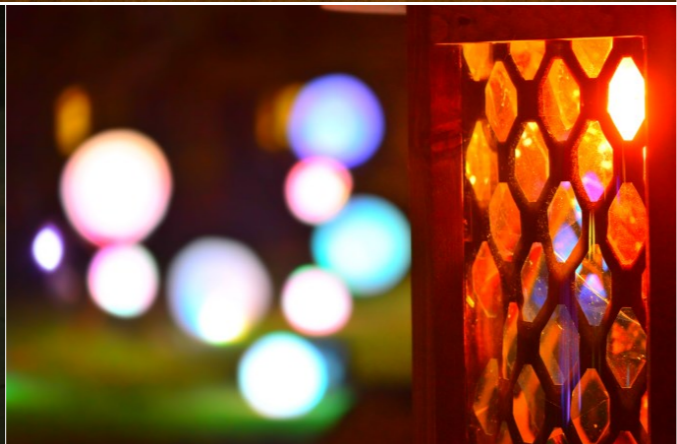
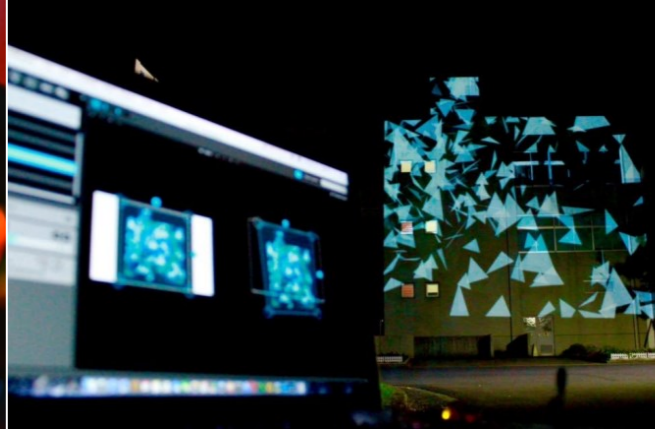
ひかり かげ もの がたり

光と影の物語

本を開くとそこはおとぎ話の世界。シンデレラ、いばら姫、不思議の国のアリスの3種のおとぎ話が光と影で壁に紡ぎだされる。



終わりに



突撃！参加者インタビュー

キャンパスイルミネーションの主体となっている明石研究室 教授の明石先生と参加してくれたメンバーたちへ突撃インタビューを行いました。

一

明石 行生先生（明石研）

参加者に学んでほしいことは？

明石先生：参加者には新しい灯り文化を自分たちで創造する気持ちで参加して欲しいです。キャンパスイルミネーションは、実践教育なので、コミュニケーション能力、創造性、管理能力、信頼性などが要求されます。最後までやり遂げて成功体験を得るとともに、自分の得手不得手を把握して下さい。そして生活の質、文化まで変えることができる灯りの魅力を学んで欲しいです。



二

国際地域学科 1 年

始めて参加してみて感想は？

西澤くん：これいつ終わるんだろう・・・って作業もありました(笑)でも完成したときの達成感はたまりません！

藤堂さん：私は、今までやったことのないことをしたくて参加しました。自分の学科では、絶対学べないことが知れました。「理科」ってこう使われてるんだなって(笑)

平野さん：同じ班の子とはすぐ仲良くなりました。製作はずっと楽しくて、みんなとはゲームの話とか、食べ物の話とか、いろんな話をしながら作業をしていました。



三

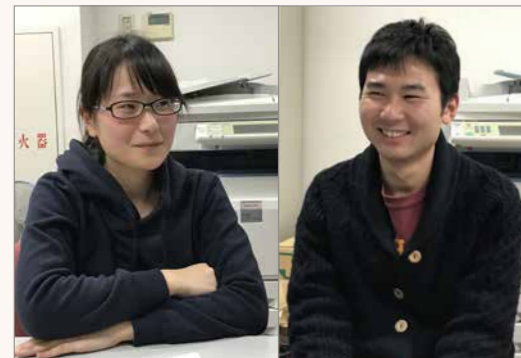
建築建設工学科 2 年

2 年間参加してみてどうでしたか？

久保寺くん：大学の授業で学べないことが、身につくのは良かったですね！去年はオブジェ班、今年はマッピング班で、違う分野を経験したのは自分にとっての大きな力になりました。

大木さん：私は、話し合いが上手になった気がします。普段の生活では意見を出し合ったりすることもあまりないので、お互いが納得できる話し方をするように頑張りました。あと CD をめくる技術だったり、絶対役に立たない技もいっぱい身に付けました(笑)

久保寺くんともイルミがなければ仲良くなかったかも・・・(笑)



四

建築建設工学科 3 年（留学生）

一番苦労したことは？

トラくん：やっぱり言葉の壁ですね。でもみんなと作業していくうちに、自分のやりたいことを伝えたり、考えを話せるようになりました。学校生活や福井のこと、就職のこと、恋バナまで・・・いろんなことを話しました。製作に関しては、あまり苦労はなかったです。もともと模型作りは好きだったので。ただ日本人の細かさにはびっくりしましたね(笑)他国の文化を知る良い機会になりました！

